

信頼と社会の発展に貢献する
機械総合商社



2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月11日
東京産業株式会社 (8070)

- ◆ 会社概要
- ◆ 2017年3月期 第2四半期 決算概要
- ◆ セグメント別事業内容
- ◆ 成長に向けた施策

- ◆ 会社概要

- ◆ 2017年3月期 第2四半期 決算概要

- ◆ セグメント別事業内容

- ◆ 成長に向けた施策

会社概要

2017年に創立70周年を迎える機械総合商社 筆頭株主は火力発電システム事業を手掛ける三菱日立パワーシステムズ

■ 基本情報

会社名:	東京産業株式会社
所在地:	東京都千代田区大手町二丁目2番1号
代表者:	代表取締役社長 里見 利夫
創立:	1947年10月20日
資本金:	3,443,284,858円
事業内容:	各種機械・プラント・資材・工具・薬品 などの国内販売ならびに貿易取引、 不動産賃貸業
事業拠点:	国内15ヶ所(うち子会社 2社 2ヶ所) 海外11ヶ所(" 7社10ヶ所)

■ 沿革

- 1942年に機械器具の製造販売を業とする大和機械(株)を設立
- 1947年**三菱商事(株)の解散が命ぜられ同社機械部有志が当社の経営権を譲り受ける**、商号を東京産業(株)に変更
三菱系各社支援の下、一般産業機械及び器具類の国内販売、輸出入を業とする**機械専門商社として新発足**
- 1950年代に名古屋、仙台、大阪(現関西)等、主要な国内各拠点を開設
- 1959年東京証券取引所に店頭株として公開、1961年の二部上場を経て、1996年東証一部に指定替え
- 2000年代にかけて、海外拠点を相次いで開設、海外展開を積極化
- 2015年福島復興支援の拠点として、福島営業所(現福島支店)開設
- 2017年10月に会社創立70周年を迎える

-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 第2四半期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 成長に向けた施策

決算サマリー 損益計算書

前年同期より下振れるものの、売上高・利益ともに期初予想を上回る

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年比	
			増減額	増減率(%)
成約高	53,317	45,466	△ 7,850	△14.7%
成約残高	67,320	67,676	356	+0.5%

売上高	57,067	47,275	△ 9,792	△17.2%
売上総利益	3,479	3,006	△ 472	△13.6%
営業利益	1,284	627	△ 657	△51.2%
経常利益	1,445	754	△ 690	△47.8%
四半期純利益	889	526	△ 362	△40.8%

貸借対照表

利益剰余金等の寄与により純資産は20,770百万円に増加

2016年3月期 (単位:百万円)

総資産 45,930

流動資産 34,970	負債 25,544
固定資産 10,960	純資産 20,385

自己資本比率: 44.4%

2017年3月期

第2四半期 (単位:百万円)

総資産 41,137 (△4,793)

流動資産 28,747 (△6,222)	負債 20,366 (△5,178)
固定資産 12,389 (+1,429)	純資産 20,770 (+384)

自己資本比率: 50.5%

キャッシュ・フロー計算書

事業用有形固定資産の取得等、積極投資により現金及び現金同等物は 前年比470百万円の減少

(単位:百万円)

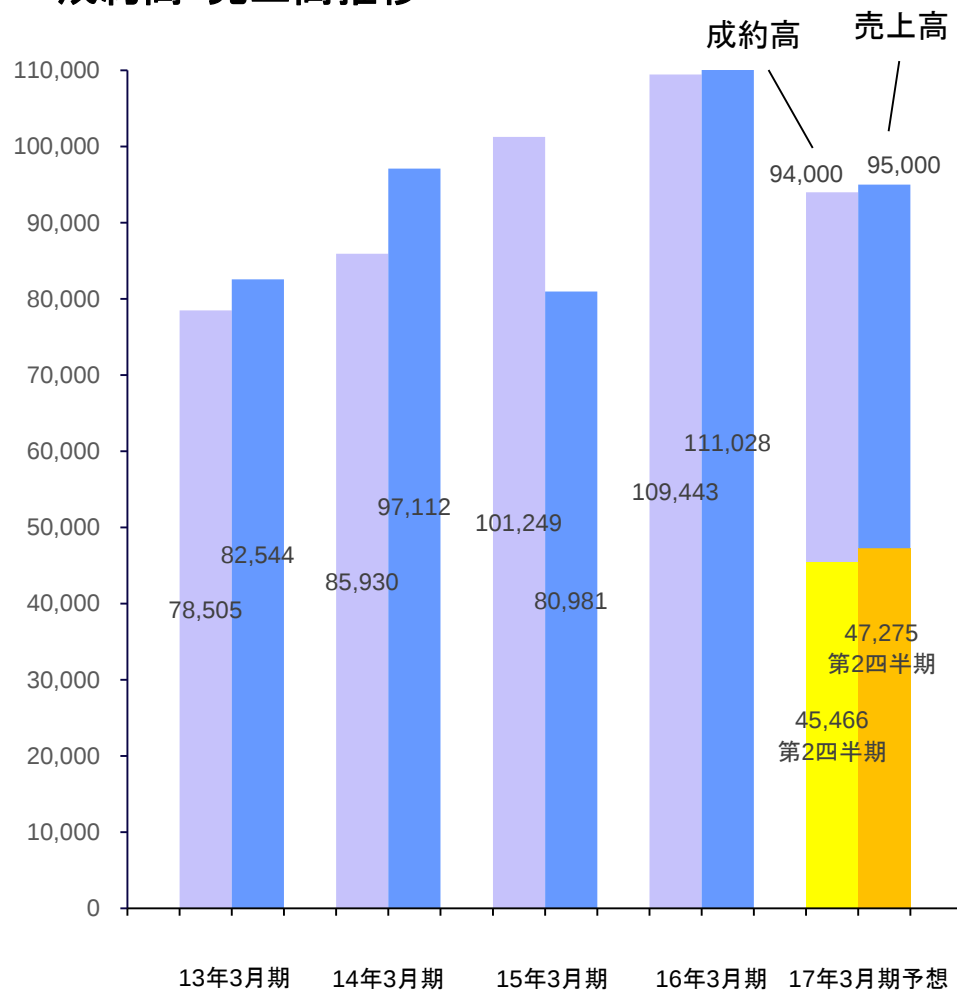
	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期 主要項目
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,786	290	・税引前当期利益により770百万円の増加。 ・法人税等の支払により430百万円の減少。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 625	・有形固定資産の取得により954百万円の減少。
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 259	△ 276	・配当金の支払により221百万円の減少。
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△ 16	
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,109	△627	
現金及び現金同等物の期首残高	9,132	6,179	
現金及び現金同等物の期末残高	6,022	5,552	

業績推移および2017年3月期業績予想

業績は堅調に推移しており、直近2期は連続過去最高益を達成
2017年3月期についても、同水準維持を予想

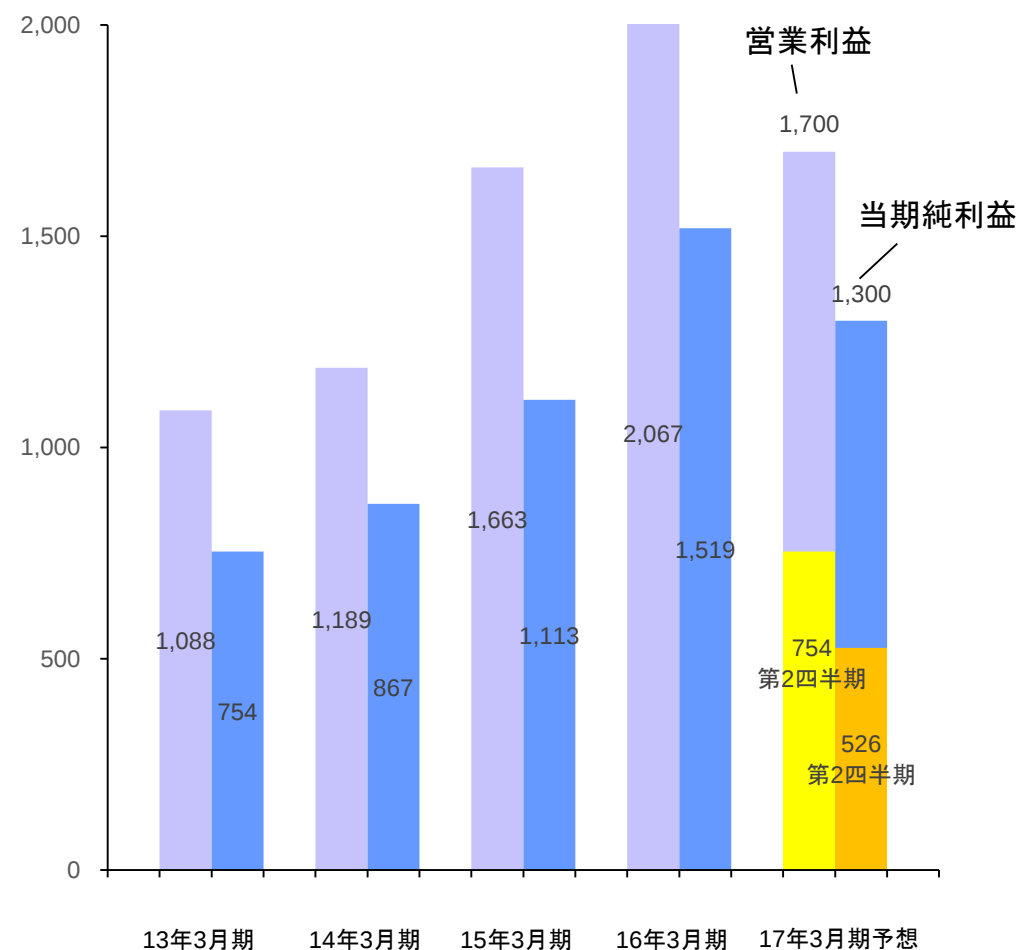
■ 成約高・売上高推移

(単位:百万円)



■ 利益推移

(単位:百万円)

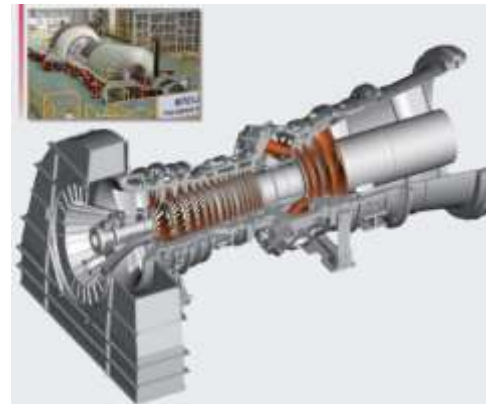


-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 第2四半期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 成長に向けた施策

セグメント概要 電力関連部門

- 東日本の火力発電所に向け、三菱日立パワーシステムズ製発電設備の販売、保守・点検等を行っております
- 今後の展開として、IGCC石炭火力事業にも注力してまいります

ガスタービン



- 三菱日立パワーシステムズ製のJ型ガスタービン
- 2011年に商用運転を開始した世界最大級の高效率ガスタービン

業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
売上高	30,446	25,734
営業利益	305	387

IGCC
石炭ガス化複合発電



売上高構成比



- 複合発電で高效率化を実現。

電力関連
54.4%

セグメント概要 化学機械関連部門

- 化学関連業界向けにプラント並びに機械設備の販売・工事請負を行っております
- 医薬製造向けグラスライニングや、再生可能エネルギー、製氷事業など新規事業にも積極的に取り組んでおります



グラスライニング
(医薬製造向ホーロータンク)

高密度ポリエチレン管



業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
売上高	9,679	8,085
営業利益	177	55

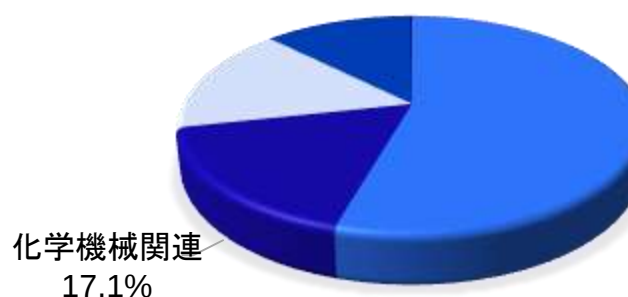


太陽光パネル



製氷機・
プレートアイス
水産業での
使用に最適

売上高構成比



セグメント概要 電子精機関連部門

- ・ 国内外の自動車・IT関連メーカー向けに、工作機械・ダイカストマシンなどの販売、導入支援を行っております
- ・ 輸出取引や、海外現地法人を通じた販売も多いセグメントです

■ 業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
売上高	11,972	7,561
営業利益	757	138



- ・ ファナック製の小型工作機械
- ・ 周辺機器も含めて輸出し海外でセットアップ可能

ロボドリル



ダイカストマシン(システム受注も可能)

売上高構成比

電子精機
関連
16.0%



セグメント概要 環境関連部門

- ごみ焼却炉など環境関連設備の販売、導入、運営支援を行っております
- 木質発電・バイオマス関連設備、食品製造業向けプラント設備、ポリエチレン包装資材やトイレ自動流水器なども取り扱っております

■ 業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
売上高	4,901	5,824
営業利益	17	8

ごみ焼却炉



シールドマシン

放射能汚染物質
除染減容システム



包装資材



トイレ自動流水器



売上高構成比



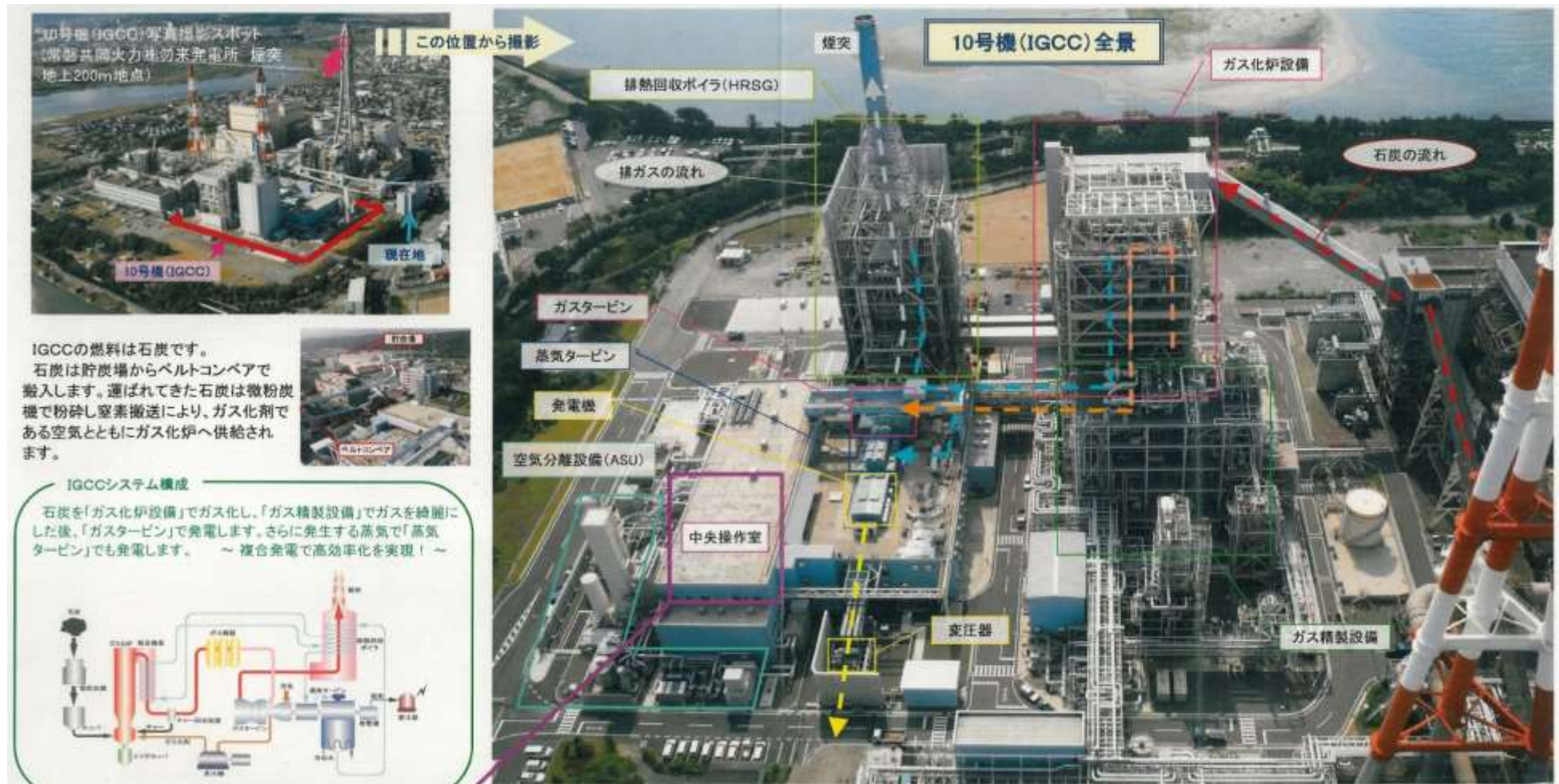
-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 第2四半期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 成長に向けた施策

■ 取り組みの概要

- ・ バイオマス燃料供給
- ・ 新設石炭火力・保守メンテ受注活動
- ・ 石炭灰の再生砕石化(FRC)事業

■ 戦略的意図

- ・ 燃料供給～新設火力・保守メンテ受注活動～石炭灰リサイクル
エネルギー関連各事業に対し一貫通貫した営業展開

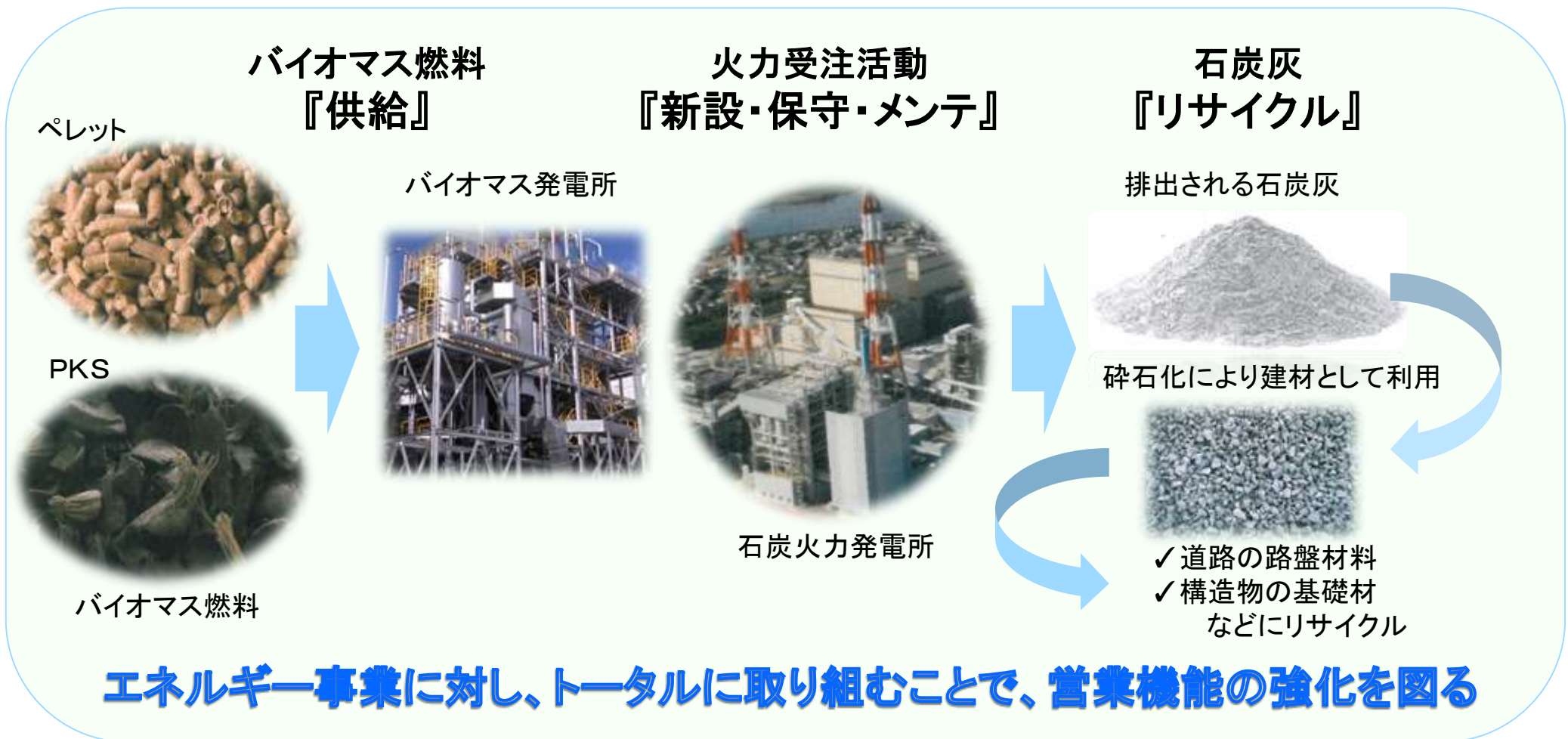


■ 取り組みの概要

- ・ バイオマス燃料供給
- ・ 新設石炭火力・保守メンテ受注活動
- ・ 石炭灰の再生砕石化(FRC)事業

■ 戦略的意図

- ・ 燃料供給～新設火力・保守メンテ受注活動～石炭灰リサイクル
エネルギー関連各事業に対し一貫通貫した営業展開



新事業・成長戦略 II. 再生可能エネルギー（化学機械関連部門）

■ 取り組みの概要

- 太陽光発電事業運営
 - ✓ 運転中 3ヶ所
中津(196kW)、神栖(294kW)、山陽小野田(2,065kW)
 - ✓ 建設中 2ヶ所
つくばみらい(4,655kW)、関(3,300kW)



山陽小野田ソーラーパーク
2016年3月より稼働
建設場所：山口県山陽小野田市
発電規模：2,065 kW/h

■ 戦略的意図

- 順次稼働により、総発電規模は10,000kW
- 将来にわたる安定的な収益確保

つくばみらいソーラーパーク(北サイト・南東サイト)
2017年3月稼働予定
建設場所：茨城県つくばみらい市
発電規模：4,655 kW/h
(写真：北サイト 2016年10月稼働済)



新事業・成長戦略 Ⅲ. 製氷機事業（化学機械関連部門）

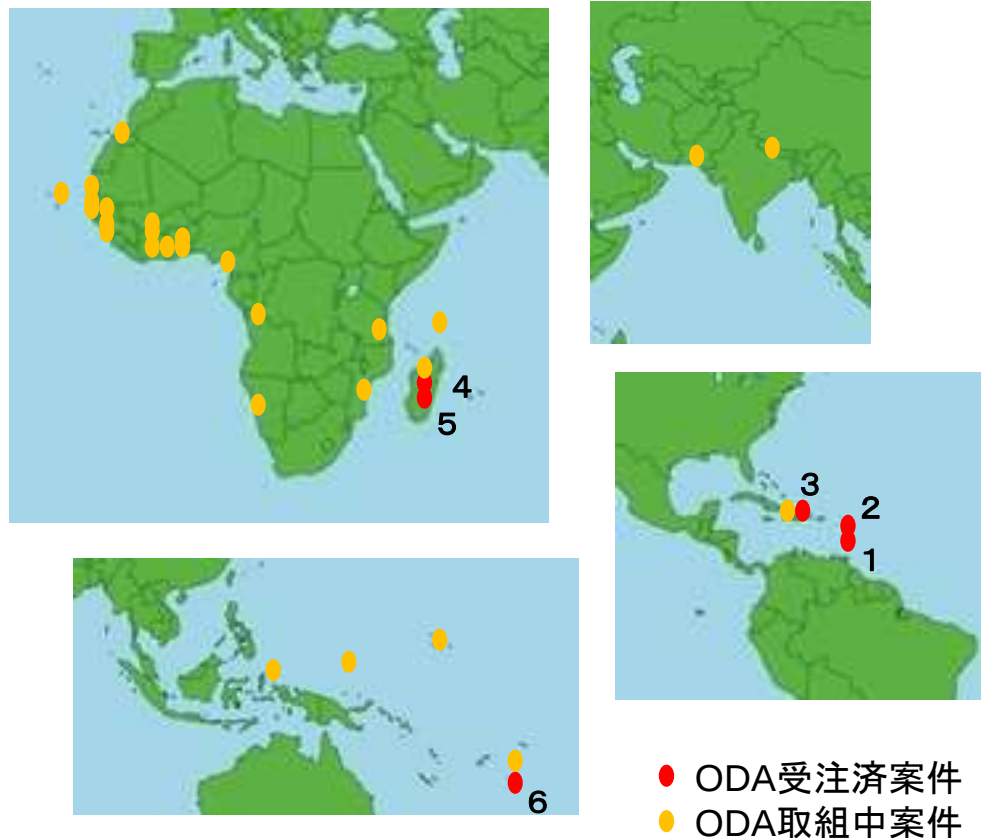
■ 取り組みの概要

- ODA（政府開発援助）を通じた新興国向製氷機販売
- アイスマン製氷機を軸に、冷凍設備需要を取り込み
- 水産ODA案件の受注強化

■ 戦略的意図

- 水産ODA案件で数多く採用される製氷機の取り扱いによりいち早く案件情報を入手、他コールドチェーン商材を提案
- ODA案件実績を積むことにより、ノウハウを生かした新たな商材取扱、無償案件への展開

ODA取り組み案件



ODA受注実績

No.	国名	地域	案件
1	セントルシア	西インド諸島	港湾用製氷機
2	セントクリストファー・ネイビス	西インド諸島	港湾用製氷機
3	ドミニカ	西インド諸島	港湾用製氷機
4	マダガスカル	マダガスカル島	港湾用製氷機
5	マダガスカル	マダガスカル島	製氷機新設
6	トンガ	ポリネシア	港湾設備電気工事

新事業・成長戦略 IV. メキシコ（電子精機関連部門）

■ 取り組みの概要

- ・ メキシコ営業人員の増員
- ・ 技術者2名を配置、積極的なユーザー開拓

■ 戦略的意図

- ・ 今後も続く日系他自動車産業進出への対応
- ・ 機械単品を売だけでなく、既設設備のメンテナンス、オーバーホールを請負うことで、工場への販売強化

自動車メーカー進出状況

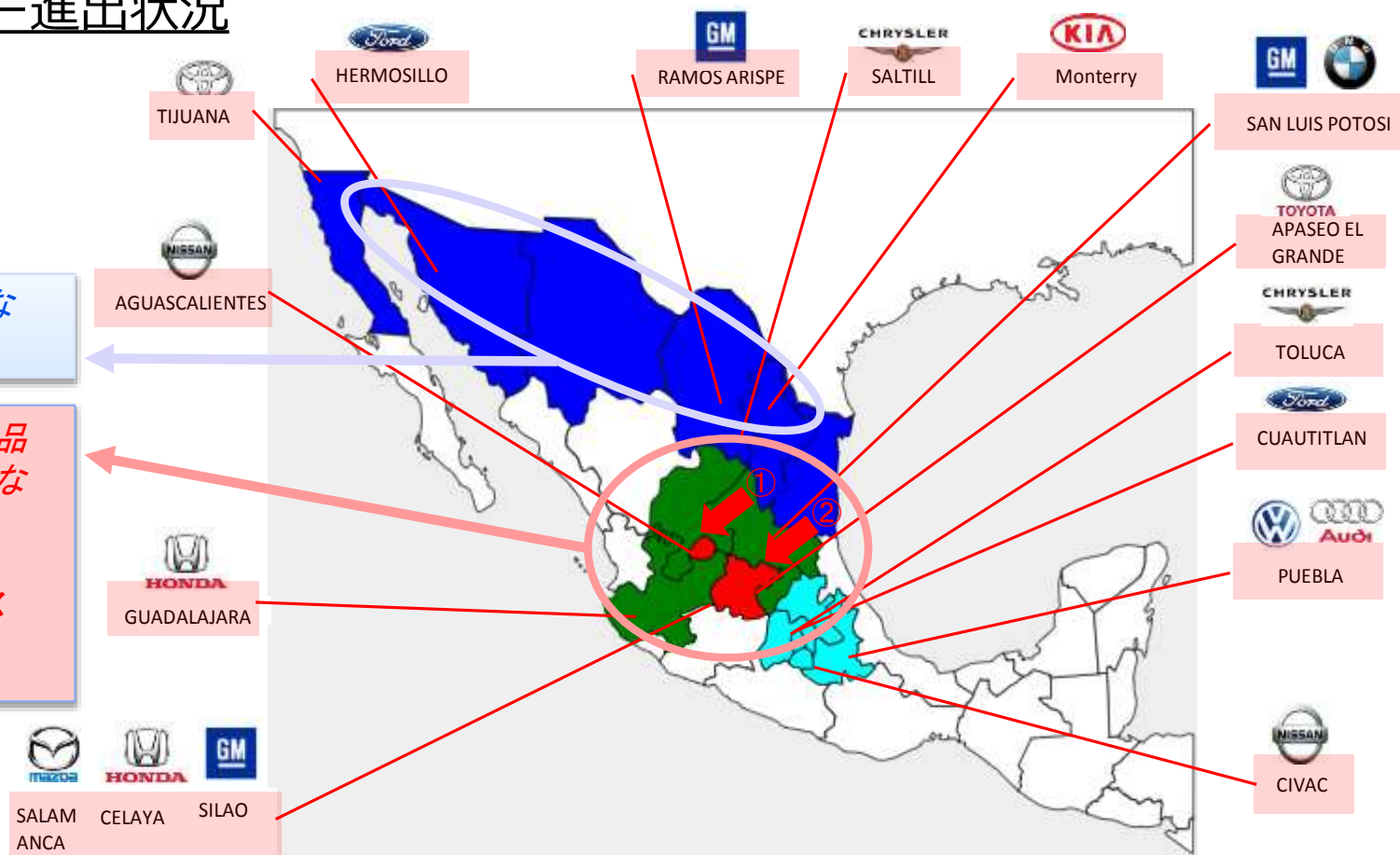


米国への輸送に有利な
国境近くの州

自動車メーカー及び部品
メーカーの進出が盛んな
中部高原地域

【弊社拠点】

- ①アグアスカリエンテス
- ②シラオ



新事業・成長戦略 V. 福島復興支援（環境関連部門）

■ 取り組みの概要

- ・ 除染特別地域への資材運搬、物流システム構築
- ・ トラックにGPSを配備し、効率的な配車・物流を実現

■ 戦略的意図

- ・ 中間貯蔵施設建設に伴う、資材大量輸送への対応（資材安定供給、作業員・運転者の安全な就業）
- ・ 今後も続く復興需要への積極的アプローチ

除染地域への大量資材運搬事業



【中間貯蔵施設建設に伴う工事予定】

- ✓ 平成28年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）
- ✓ 平成28年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）
- ✓ 平成28年度大熊町における廃棄物処理業務（減容化処理）

✓ 中間貯蔵施設の配置図



（出典：環境省）

ご清聴ありがとうございました

東京産業株式会社

<http://www.tscom.co.jp/>

問合わせ先 企画本部 企画室

Tel. 03-6777-3142 Fax. 03-6672-5303

E-mail. info@tscom.co.jp

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。